

2017年3月刊行

# ウィーンのシュテファン大聖堂

ゴシック期におけるハプスブルク家の造営理念

岩谷秋美（東京藝術大学助手）著

本体価格 17,500 円＋税

A5判上製函入 本文576頁 ISBN 978-4-8055-0787-2 C3052



ウィーンを中心に聳え立つ、ドイツ後期ゴシックを代表する建築であるシュテファン大聖堂。その造営期間は三世紀半の長きに及び、期間中、各時代の最新様式が導入され、また施主の意図も変転した。

本研究は、様々な要素の複合体として完成したシュテファン大聖堂に見られる独創的な形態や荘厳な作用が導き出される原理を明らかにし、その背景となる動機を解明する。

（「序」より抜粋）

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1  
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱いは

目次

序

第一章 問題提起

第二章 造営史と先行研究概観

- 1. 先行研究概観
- 2. 造営史
- 3. 本研究の意義

第Ⅰ部 外観の造営

第一章 司教座設立への模索

- 1. 創設背景
- 2. 司教座設立の企て
- 3. 参事会設置

第二章 ルードルフ四世の皇帝大聖堂構想

- 1. 政治上の要請
- 2. ハプスブルク家の聖堂と肖像
- 3. ルクセンブルク家の模倣

第三章 市民の南塔

- 1. 市民の単塔
- 2. 表層と形態
- 3. 柔軟様式
- 4. シルエットの研磨

第四章 皇帝の〈フリードリヒ破風〉

- 1. 飾破風の問題
- 2. 飾破風の設置機会
- 3. 南塔における造形上の動機
- 4. 〈フリードリヒ破風〉の機能

第Ⅱ部 荘厳空間の創出

第一章 段形ホールの特異性

- 1. 計画の経緯
- 2. インゴルシュタットの聖母聖堂
- 3. ブラウナウ・アム・インのザンクト・シュテファン聖堂

第二章 権威の表象

- 1. 肖像の展開
- 2. 君主権の表象と伝統
- 3. 君主の理想空間

第三章 リブ・ヴォールトの空間表現

- 1. リブ・ヴォールト形態の着想源
- 2. 棟梁プクスパウム
- 3. ヴォールトの発展

第四章 図面とトレーサリー

- 1. 天蓋彫刻
- 2. 図面の機能と目的—設計図・見本帳・理想図
- 3. 《鷲門図》とリブ・ヴォールト

第五章 内陣問題

- 1. 聖域としての聖堂空間
- 2. ホール式聖堂の空間演出
- 3. ホール式内陣の聖域化

結 論

資 料

系 図

棟梁の系譜図（ウィーン、シュテファン大聖堂）  
家系図（バーベンベルク家、ハプスブルク家）

「教皇ピウス二世のコメンタリー」（抄訳）

文献目録

図版一覧・出典一覧

要 約

附録 建築カタログ

建築カタログ／地図／一覧（カタログ番号順）

索引1（都市名順）

索引2（国別・アルファベット順）

索 引

あとがき

【著者紹介】

岩谷秋美（いわや・あきみ）

東京大学経済学部、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程を経て、2014年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士（美術）。現在は東京藝術大学美術学部芸術学科教育研究助手。

主な業績としては、論文「ハンス・マカルトと皇帝の凱旅行進 デューラーが見た一九世紀ウィーンの〈歴史主義〉」（『ウィーン 総合芸術に宿る夢』、竹林舎、2016年）、共著『ドイツ・ルネサンスの挑戦 デューラーとクラナハ』（東京美術、2016年）がある。

《関連書籍》

ゴシック様式成立史論

加藤耕一 著

本体価格14,000円＋税

ゴシック建築大成

パウル・フランクル 著  
ポール・クロスリー 校訂  
佐藤達生・辻本敬子・  
飯田喜四郎 訳

本体価格58,000円＋税

ゴシックとは何か

パウル・フランクル 著  
黒岩俊介 訳

本体価格48,000円＋税